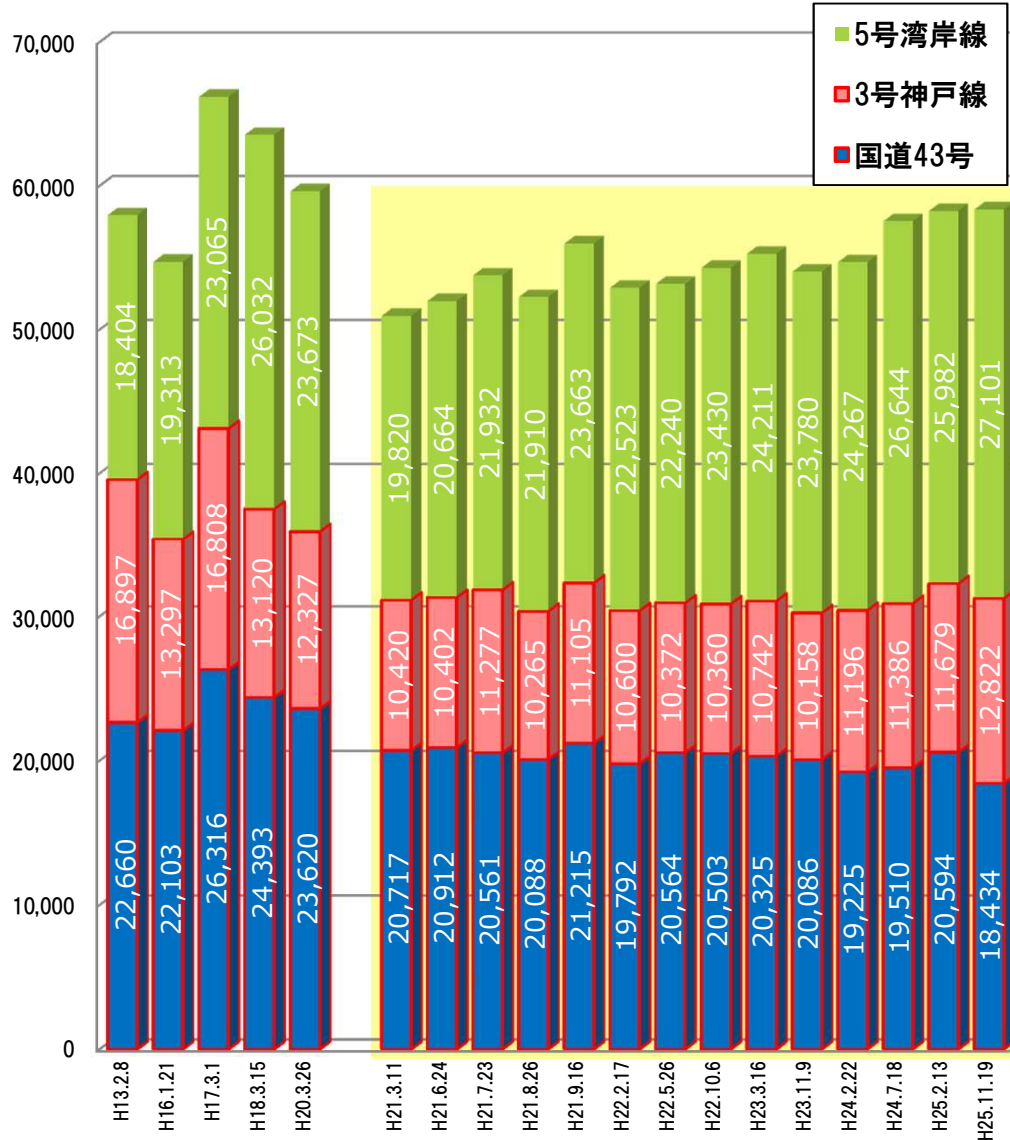


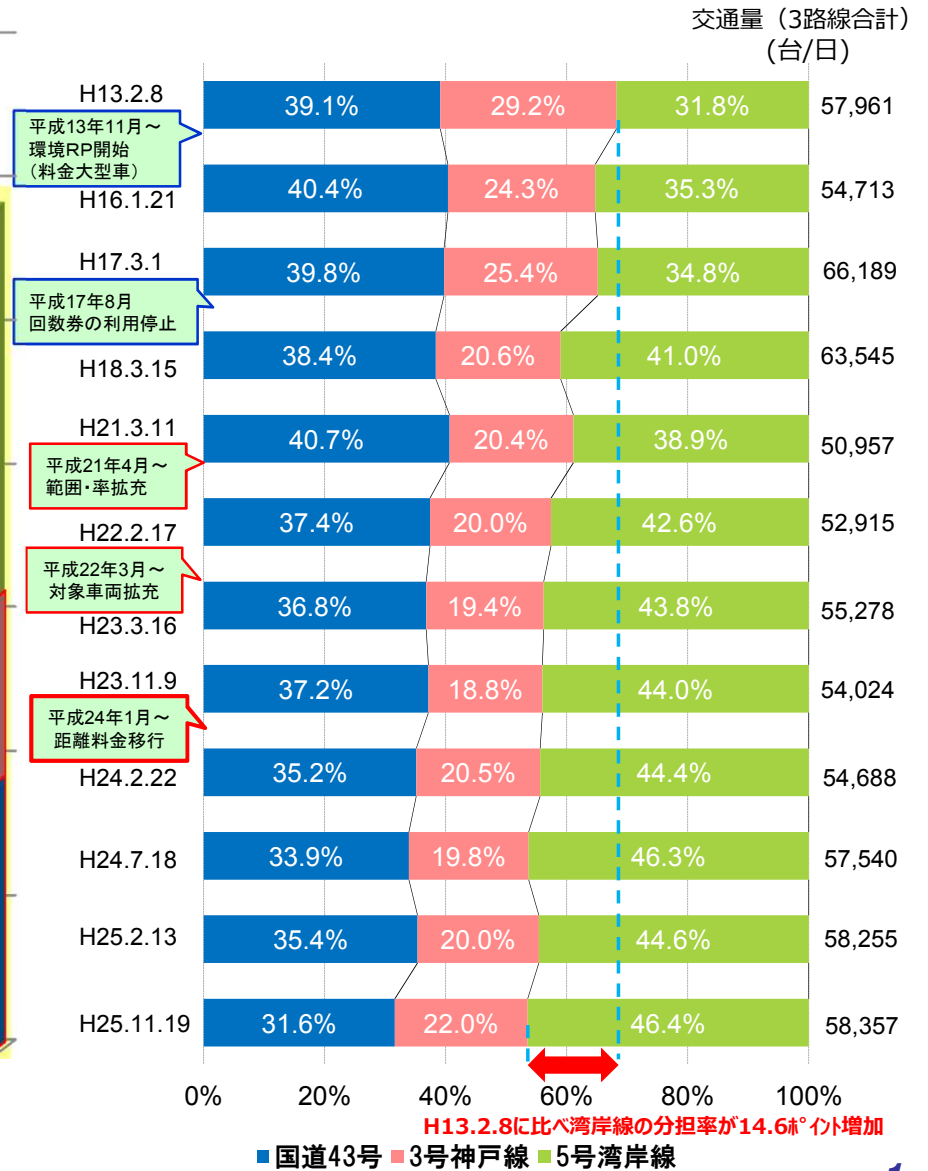
尼崎大阪断面のセンサス大型車道路別利用状況

断面交通量 (台/日)



※阪神高速のH20年以降の交通量は、ETCデータを使用

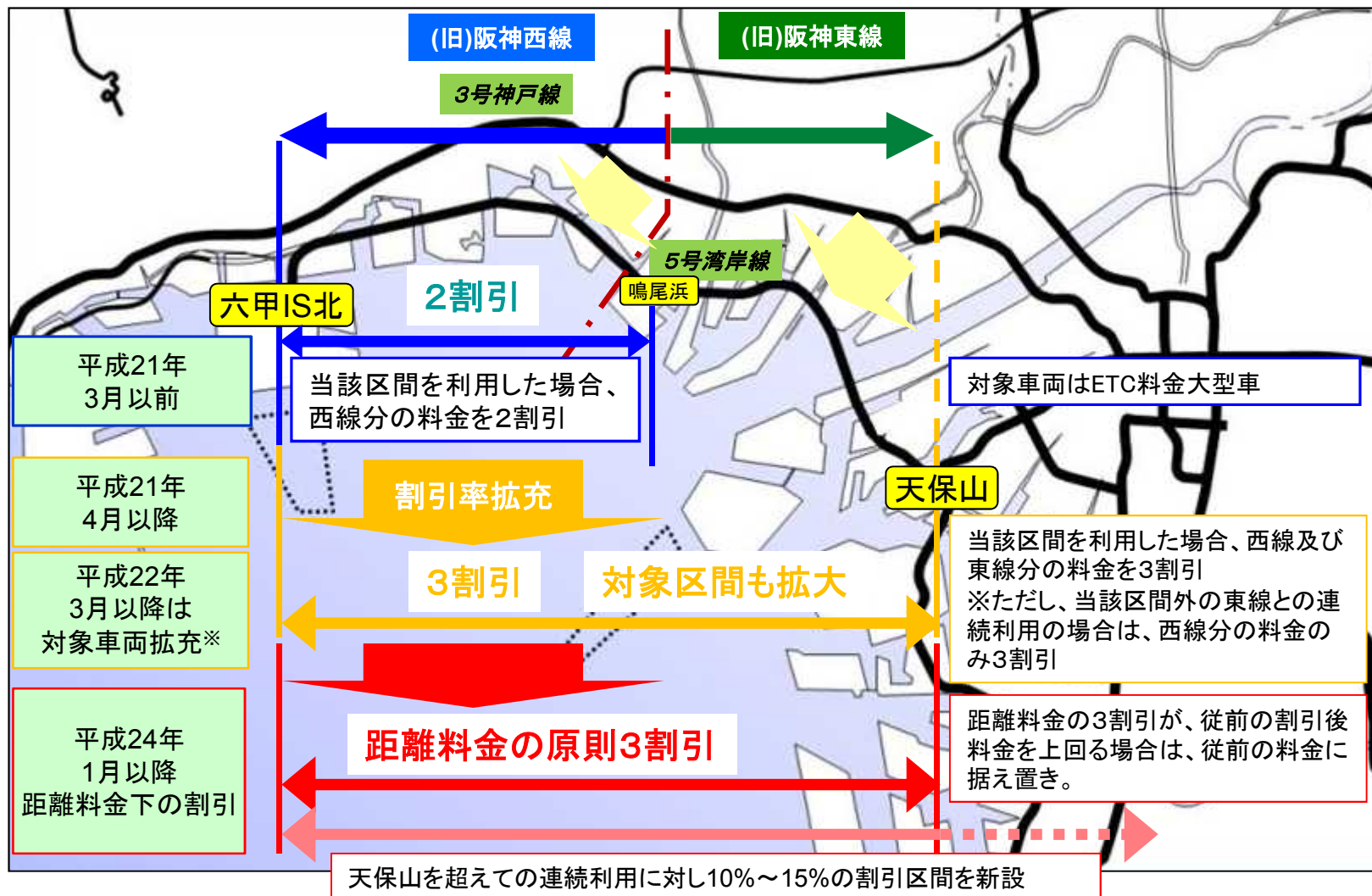
分担率 (%)



H13.2.8に比べ湾岸線の分担率が14.6%↑増加

環境ロードプライシング施策概要







3号神戸線・国道43号沿道地域の気環境改善策である環境ロードプライシングはH13年11月の試行開始以来、段階的にその内容を拡充してきた。またH24年1月には距離料金導入に対応するため、新しい割引体系となった。



※平成22年3月からの対象車両の拡充は、センサス大型車(料金普通車)かつETCコーポレートカード利用で、事前登録を行った車を新たな割引対象としたもの。

環境ロードプライシング（対象車両）

- ・環境ロードプライシングは当初（H13）「料金大型車」のみを対象として試行開始。
- ・平成22年3月より対象車両を拡充、センサス大型車（料金普通車）の一部についても対象とした。

		センサス区分			
		小型車		大型車	
		乗用車 (ナンバー3、5、7)	小型貨物車 (ナンバー4、6)	バス (ナンバー2)	普通貨物車等 (ナンバー1、8、9、0)
料金区分	普通車			<div style="border: 2px dashed red; padding: 5px; text-align: center;"> 平成22年3月拡充対象 (ETCコーポレートカード利用の事前登録車) </div>  <p>(乗員定員29人以下 かつ車両総重量8t未満)</p>  <p>(最大積載量5t未満 かつ車両総重量8t未満)※</p>	
	大型車	(備考) 注1) 写真は主な車種を示す。 注2) ナンバーとは、ナンバープレート 上段右側の数字(2~3桁)の頭の1桁 例)  頭1桁 注3) ※普通貨物車の括弧書きは、 代表的な区分を示す。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 従来の割引対象 </div>  <p>(乗員定員30人以上 又は車両総重量8t以上)</p>  <p>(最大積載量5t以上 又は車両総重量8t以上)※</p>		

距離料金移行による影響

- ・ 環境ロードプライシングについては移行前と同等の割引を維持
- ・ 料金圏撤廃により、環境ロードプライシング対象区間でも料金が低減し、国道43号の大型車が阪神高速に転換

■環境ロードプライシング割引の料金例(ETC利用の大型車を対象)

【環境ロードプライシング】5号湾岸線(住吉浜~天保山)	移行前: 1,540円 ^{※1} → 移行後: 1,120円 (30%割引)
【参考】3号神戸線(魚崎~中之島西)	移行前: 2,400円 ^{※2} → 移行後: 1,600円

※1 阪神西線料金(1,000円)+阪神東線料金(1,400円)
 -湾岸線連続利用割引(200円)
 -環境ロードプライシング割引(660円(▲30%))
 ※2 阪神西線料金(1,000円)+阪神東線料金(1,400円)



【対象データ】
 阪神高速: ETCセンサス大型車通行実績※
 国道43号: 実測値(近畿地方整備局)
 調査日: 移行前 H23.11.9 移行後 H25.11.19
 ※料金普通車のセンサス大型車で
 環境ロードプライシング適用外の台数を含む

■阪神高速と一般道の分担率(大型車を対象)

尼崎西宮断面			
H23.11	国道43号	3号神戸線	5号湾岸線
	27% 12,700台/日	25% 11,800台/日	49% 23,400台/日
	↓ ▲6%	↓ +2%	↓ +3%
H25.11	21% 10,700台/日	27% 13,900台/日	52% 26,900台/日

尼崎大阪断面			
H23.11	国道43号	3号神戸線	5号湾岸線
	37% 20,100台/日	19% 10,200台/日	44% 23,800台/日
	↓ ▲5%	↓ +3%	↓ +2%
H25.11	32% 18,400台/日	22% 12,800台/日	46% 27,100台/日